

2021年9月10日

報道関係各位

一般社団法人電子情報技術産業協会

JEITA、『責任ある企業行動ガイドライン』の自己評価シート詳細版を発行 — 日本企業のCSR調達の推進と効率化をサポート —

一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA：代表理事/会長 綱川 智 株式会社東芝 取締役会長 代表執行役社長 CEO）は、サプライチェーン全体のCSR（企業の社会的責任：Corporate Social Responsibility）を具現化するためのモデル行動規範となる『責任ある企業行動ガイドライン』（2020年3月発行）に基づくサプライヤー向けSAQ（Self-Assessment Questionnaire）である「責任ある企業行動ガイドライン 自己評価シート詳細版」を本日、発行しました。

『責任ある企業行動ガイドライン』に基づく自己評価シートとしては、2021年3月に「責任ある企業行動ガイドライン 自己評価シート」を発行していましたが、これは各項目に対する取り組み状況を1項目1問（計：約40問）で問うもので、サプライヤーの取り組み状況を大まかに把握することはできるものの、CSR調達を実践するためのサプライヤーの評価、リスク評価の落としどころの把握には課題がありました。今回の自己評価シート詳細版では、ガイドラインの内容から約170問を厳選して設定し、具体的な事象を基に、その企業が責任ある企業行動を行っているかを、より明確に自己評価できるようになっています。また、近年、グローバルなNGO等によるSAQの広がりや踏まえ、これらのSAQの内容も確認した上で、日本の法律や実態にそぐわない内容や設問数を考慮し、日系企業を中心としたサプライヤーが取り組むべき項目を抽出してまとめました。

JEITA CSR委員会 責任あるサプライチェーンワーキング・グループSAQ作成タスクフォースのリーダーである沼澤 朋子（横河電機株式会社）は次のように語っています。

「CSRは単に個別企業やグループ内企業だけの取り組みとして実施するのではなく、取引先・パートナーを含めたサプライチェーン全体で推進することが求められています。『責任ある企業行動ガイドライン』は取引先を含めたサプライチェーン全体のCSR具現化を目指すためのものとして、自己評価シート詳細版は、回答を依頼する企業ならびに回答をするサプライヤー双方の負担を軽減し、効率よく実践することに寄与するものです。より多くの企業に利用いただくことで、CSR調達を広く業界全体で推進し、サプライチェーンにおけるCSRに対する理解・取り組みが更に促進されることを期待しています」。

JEITAでは、サプライチェーンにおけるCSR、責任ある企業行動の推進を目的に、他にもガイドラインを活用したサプライヤーへの教育・啓発活動等にも取り組んでおり、これらの活動を通じて、企業における「ビジネスと人権」の国際的なガイドラインの実践の推進、企業負担の軽減、リスクマネジメントの強化、日本の産業界の国際的な信頼向上に貢献してまいります。今後の取り組みにつきましては、随時発表いたします。

詳細情報

■概要

タイトル：

責任ある企業行動ガイドライン 自己評価シート詳細版

価格：

無償 (JEITA の [WEB サイト](#) よりダウンロード)

公開日：

2021年9月10日

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA) 経営企画本部広報室

TEL : 03-5218-1053 E-mail : press@jeita.or.jp